

大学生におけるインターネット社会が与える思考力への影響

千安美柚

本研究は、大学生を中心とするデジタル・ネイティブ世代を対象に、インターネット、SNS、AI といった情報通信技術 (ICT) による思考力への影響について検討することを目的とする。生徒、教員の協力のもと Google フォームでアンケート調査を実施し、それをもとに情報のファクトチェックの信用性、情報入手に利用する媒体とその関係、AI に対する認識、SNS 情報と AI 情報の信頼度の違いについて分析した。

その結果、情報収集の手段としてインターネット媒体が圧倒的に多く利用されている一方で、真偽の確認も同じくインターネットに依存する傾向が見られた。また、AI の利便性を評価しつつも使用に対して判断を保留する回答が多く、利便性と使用に対する不安がともに存在することが分かった。

これらの結果から、デジタル・ネイティブ世代においては思考力そのものの低下を示すことは出来なかったが、判断力や批判的思考に影響を与えている可能性が示唆された。今後は、情報の取捨選択を適切に行えるような思考力と知識を養うことが重要な課題である。